

2024年5月14日

お客様各位

平素より大変お世話になっております。メディデータプラットフォームで実施する重要な用語の変更についてお知らせいたします。2024年4月より、ユーザ向けのすべてのコンポーネントで「Subject（被験者/症例）」および「Subject ID（被験者 ID/症例 ID）」という用語を「Patient（参加者）」および「Patient ID（参加者 ID）」に変更してまいります。（「Patient」に対応する日本語は、厚生労働省のガイドライン等を参照し「参加者」といたします。）対象コンポーネントには、製品のユーザエクスペリエンス・関連トレーニング・ソフトウェアに関わる文書、加えてあらゆるマーケティング資料を含みます。現段階では、基盤となる API・サービス名・データベーススキーマ（データベースの仕様や構造）の変更は行いません。今後、これらに関わる変更の実施を決定した場合は、お客様のデータフローおよびデータインテグレーションへの混乱を最小限に抑えるため、改めてお知らせを行い、（月/年単位での）業界標準の移行期間を設けます。

この変更は、メディデータが行うあらゆる活動は patient を中心に据えるという、当社の継続的な方針に基づくものです。メディデータは企業として、「Subject（被験者/症例）」から「Patient（参加者）」に更新することは、当社のプラットフォームが支援する臨床研究への参加に人間性を持たせることに役立つと考えています。この決定は、患者様および患者支援者様、当社お客様およびパートナー様、そして業界団体および規制当局との協議のうえで行いました。

当社では、subject という用語の使用を取りやめることについては、業界の幅広い賛同を得ていると確信していますが、同時にこの用語に代わる最良の選択肢はいくつかあることを認識しています。先に申し上げた通り、当社は patient という言葉が最も人間性を与える用語であり、臨床研究への参加者を含むあらゆる方々が、ヘルスケアジャーニーにおける patient であると考えています。また「participation (臨床研究に「参加」すること)」という用語について、そこに参加する人を示す「participant」という名詞を使用する事とは対照的に、臨床研究における patient の状態を表す言葉として捉えたいと考えています。健常ボランティアもまた臨床研究における重要な参加者グループであり、このグループを示す一案として「healthy patients」という用語を提案します。

この変更がメディデータと業界にもたらす意味は大きいと信じていますが、同時に決して容易ではないことも認識しています。メディデータ創業以来 25 年にわたって多くのプラットフォームで「Subject (被験者/症例)」という用語を使用してきました。技術・考え方の両面で「Patient (参加者)」に完全に移行するには若干時間を要すると考えております。この新たな取り組み、および patient をすべての中心に据える広範な活動へのご支援に感謝します。

何卒ご理解のほど、よろしく願いいたします。

Matt NOBLE
Head of Patient Cloud